



令和6年度 加賀市長からのメッセージ 第008号 11月29日配信

「空の産業集積」は、加賀市が注力している成長戦略のひとつです。市の成長のために強力な産業の創出は必須であると考えており、中でも航空領域に注目するのは、すさまじい勢いで全世界から成長企業が誕生しており、国家戦略特区の規制緩和をビジネスチャンスとして生かしやすいからです。

ご存じの方も多いと思いますが、日本は古くから航空事業に強く、技術開発において世界トップレベルの実績があります。加賀市はその研究開発の実証実験に望ましい環境を有しており、小松空港が近いといった地政学的な優位性もあります。現在行っているドローンやAI事業なども、運用や研究開発を担う人材育成と結びつき、ここに必ず生きてきます。

この加賀市の取り組みが評価され、多くの企業や団体が共感くださり、先日「加賀市次世代エアモビリティコンソーシアム」を設立する運びとなりました。日本を代表する民間企業および学術団体がこのコンソーシアムに参画され、式典にも多くの関係者の皆様が遠方からもお集まりくださいました。厚く御礼申し上げます。

先日母校である片山津中学校で、子どもたちが夢を見られる未来や仕事を作るという話をしましたが、このコンソーシアムの設立が加賀市の大きな発展の機会になることを確信しています。

(令和6年11月29日号)

加賀市長 宮元 陸